

磐田市立豊田東小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和7年9月4日(木)

磐田市立豊田東小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、センターの仕事と学校周辺の遺跡の講話、土器分類体験、火起こし体験を行いました。

センターの仕事と 学校周辺の遺跡

埋蔵文化財センターの仕事についての話を聞き、学校周辺にどんな遺跡があるのかを学びました。

<児童の感想>

私は遺跡の発掘調査という仕事を誤解していました。遺跡を発掘すればいいわけではなく、様々な調査をして、歴史を知り、それを後世に残していくためにとても大切なお仕事だと分かりました。



土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

今回、土器を始めて触ることができました。土器は意外と重くてがんにょうで、とても使いやすそうだと思います。今回の土器分類体験を通して、改めて土器のすごさを感じることができました。



火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

昔の人は、簡単に火を起こせなくて大変だと思いました。実際に火を起こすことがとても難しかったです。現代は昔と比べて道具がすごく進化していると思いました。



<先生方の感想>

子供たちにとって普段できないような体験ができ、貴重な経験となりました。社会科の授業で学んだことが今回の体験を通して、より知識として紐づけられたと感じました。これをきっかけにさらに歴史に興味をもってもらいたいです。

